

Privia PX-700

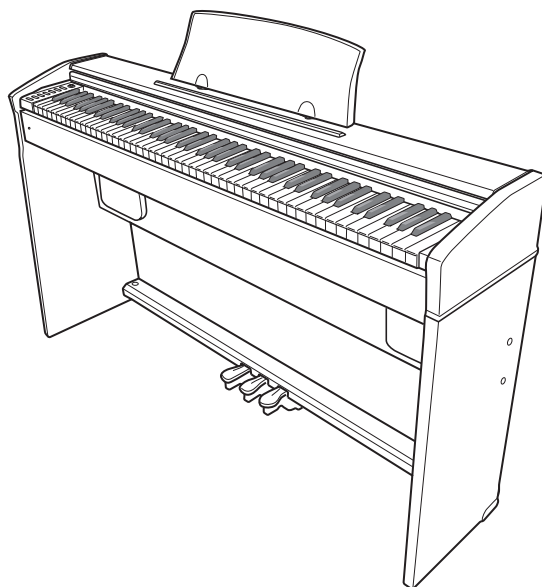
J

取扱説明書（保証書別添）

この取扱説明書は、お読みになったあとも、保証書とともに、大切に保管してください。

「安全上のご注意」

ご使用前に、添付別紙「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。



目次

スタンドの組み立て方 15

付属品を確認しましょう 15	ピアノ本体をスタンドに取り付ける 17
スタンドを組み立てる 15	譜面立ての立て方 17

各部の名称 2

ヘッドホンを接続するには 2
FUNCTIONボタンについて 3
デモ演奏を聴いてみる 3

電源について 4

ACアダプターの使い方 4

いろいろな音色を聴いてみましょう 5

音色を選んで弾いてみる 5
音色の明るさを調節するには(プリリアンス) 5
2つの音色を重ねてみる(レイヤー) 6
2つの音色を左右に分けてみる(スプリット) 6
音色に効果をかけてみる(エフェクト) 7
ペダルを使ってみる 8
メトロノームを鳴らしてみる 8

内蔵曲を練習してみましょう (ミュージックライブラリー) 9

曲を鳴らしてみる 9
練習してみる 9
内蔵曲の音量を調節するには 9

演奏を録音／再生してみましょう (ソングメモリー) 10

演奏を録音してみる 11
録音した演奏を再生してみる 12
録音した内容を消去するには 12

その他の設定 13

鍵盤のタッチを変更してみる 13
鍵盤の調を変更してみる(トランスポーズ) 13
他の楽器と音程を合わせてみる (チューニング) 13
本機で設定した内容を保つには 14
MIDI機能を使ってみる 14

資料 18

困ったときは 18
製品仕様 19
トーンリスト 20
ソングリスト 20
設定に使用する鍵盤一覧 21
ご使用上の注意 22
保証・アフターサービスについて 22

MIDI インプリメンテーションチャート

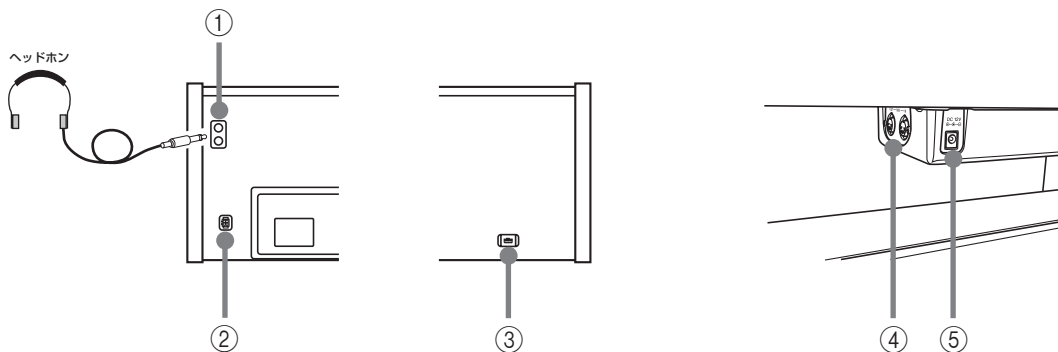
■付属品

ACアダプター(AD-12JL)、スタンド*、ペダルユニット、スピーカーボックス、譜面立て、取扱説明書(本書)、保証書、楽譜集

* スタンドの部品については、15ページを参照

各部の名称

【底面部】

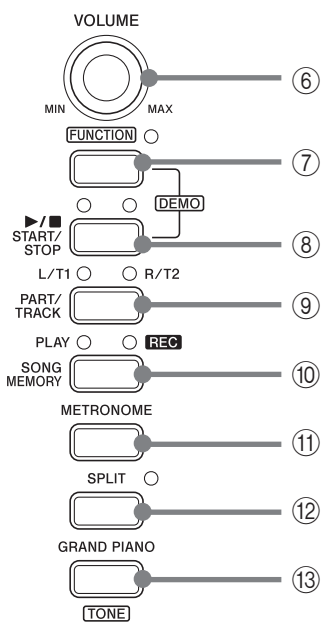
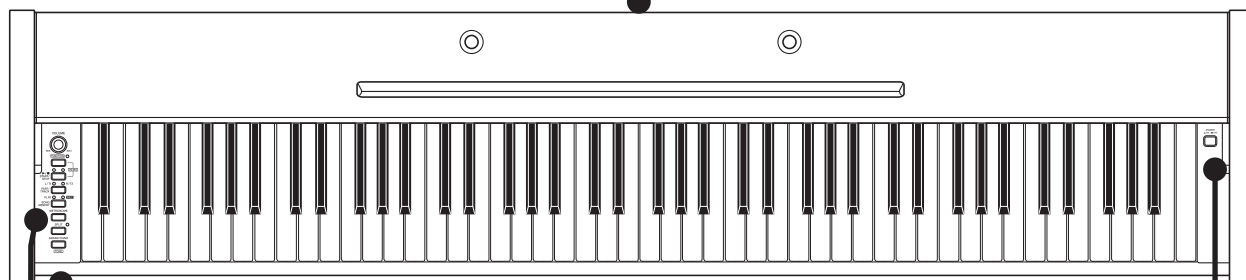


ヘッドホンを接続するには

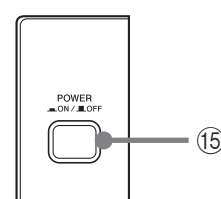
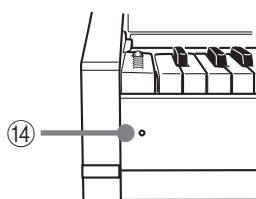
ヘッドホンヘッドホン端子に接続します。本機のスピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏が楽しめます。なお、耳の保護のために音量を上げすぎないようにご注意ください。

重要

- 接続の際は、本機のVOLUMEつまみを（接続する機器側にも音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量に調節してください。



【前面部】



⚠ 注意

- 本機を演奏する際、必ず本機のスライド式鍵カバーを完全に開けるようにしてください。不完全な開け方で演奏した場合、演奏の際の振動でカバーが閉まり、本機とカバーとの間に指をはさむことがあり、危険です。

- ① ^{ホン} **PHONES** 端子 ㊦2
- ② **スピーカーコネクタ** ㊦17
- ③ **ペダルコネクタ** ㊦17
- ④ ^{ミディ アウト/イン} **MIDI OUT/IN** 端子 ㊦14
- ⑤ **電源端子 (DC 12V)** ㊦4
- ⑥ ^{ボリューム} **VOLUME** つまみ ㊦2,5
- ⑦ ^{ファンクション} **FUNCTION** ボタン ㊦3,5~9,13,14
- ⑧ ^{スタート/ストップ} **START/STOP** ボタン ㊦3,9,11,12
- ⑨ ^{パート/トラック} **PART/TRACK** ボタン ㊦9,11,12
左手/トラック1ランプ、右手/トラック2ランプ ㊦11,12
- ⑩ ^{ソング メモリー} **SONG MEMORY** ボタン ㊦10~12
PLAYランプ、RECランプ ㊦10~12
- ⑪ ^{メトロノーム} **METRONOME** ボタン ㊦8,12
- ⑫ ^{スプリット} **SPLIT** ボタン ㊦6
- ⑬ ^{グランドピアノ トーン} **GRAND PIANO, TONE** ボタン ㊦5,6
- ⑭ **電源ランプ** ㊦5
- ⑮ ^{パワー} **POWER** ボタン ㊦5

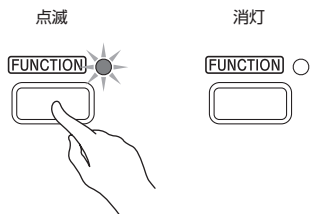
NOTE

- ㊦マーク右の数字は、参照ページです。
- 各部の名称は、本書の説明文中で太字で記載されます。

FUNCTION ボタンについて

本機では、**FUNCTION**ボタンを使って様々な設定を行います。操作の流れとポイントを、ここでつかんでおきましょう。

- **FUNCTION** ボタンは、押している間、ボタン上のランプが点滅し、離すと消灯します。



- **FUNCTION** ボタンは、これを押しながら、他のボタンや鍵盤を押す、という使い方をします。
 - 設定直後は少しの間、ボタン上のランプが速めに点滅し、設定が完了したことを知らせます。

(例) 5ページの「音色を選んで弾いてみる」

- **FUNCTION** ボタンと鍵盤で行う操作を巻末にまとめてあります (21ページ「設定に使用する鍵盤一覧」参照)。

デモ演奏を聴いてみる

本機に内蔵の60曲を連続して聴くことができます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押しながら、**START/STOP** ボタンを押します。

- デモ演奏が始まります。
- デモ演奏にあわせて、メロディー音色で鍵盤演奏できます。

- 2 デモ演奏を止めるには、**START/STOP** ボタンを押します。

電源について

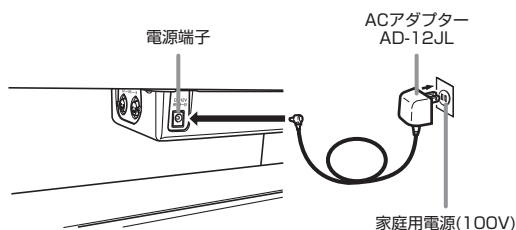
本機は、電源として家庭用電源を使用します。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

ACアダプターの使い方

本機指定のACアダプターを接続してください。

本機指定 AC アダプターの型式：AD-12JL

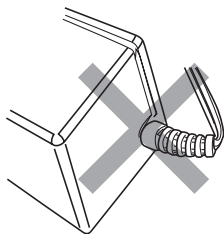
【底面部】



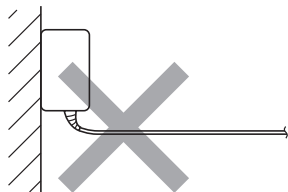
コード部の断線防止のため、次の点にご注意ください。

<使用時>

- コードを強く引っ張らない
- コードを繰り返し引っ張らない
- コードの根元部分を折り曲げない



- コードをピンと張った状態で使用しない

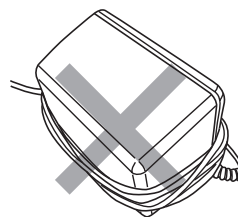


<移動時>

- 本体を移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから外す

<保管時>

- コードは図のようにACアダプター本体に巻き付けず、束ねてまとめる



重要

- ACアダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- ACアダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。

付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

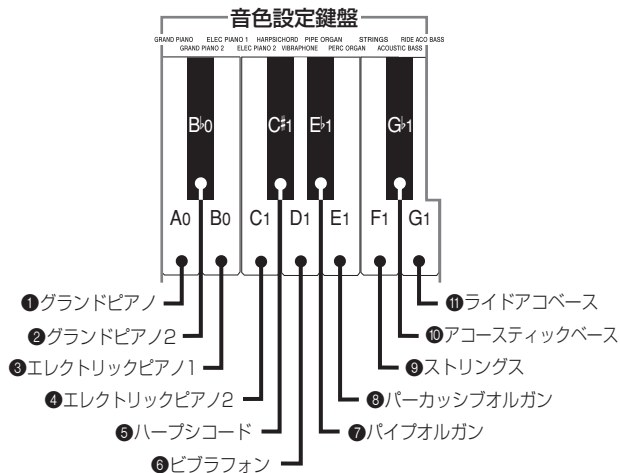
本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

いろいろな音色を聴いてみましょう

音色を選んで弾いてみる

本機には、11種類の音色があります。

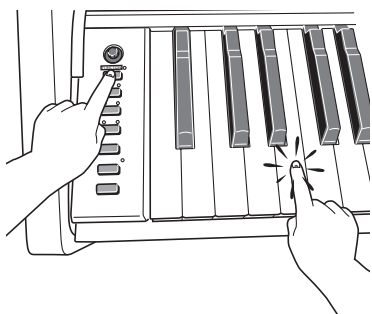
* 音色名は、本機鍵盤部の上側に記されています。



- “GRAND PIANO” の音色はステレオサンプリングになっています。

演奏を始めるには

- 1 電源を入れます。
 - **POWER** ボタンを押します。
- 2 音色を選びます。
 - GRAND PIANO 音色を選ぶには **GRAND PIANO** ボタンを押します。
 - その他の 10 音色を選ぶには
 - **FUNCTION** ボタンを押したままの状態、選
びたい音色に対応している鍵盤を押します。



- **FUNCTION** ボタンを押したまま、**GRAND PIANO** ボタンを押すごとに、図の①から⑪の番号順に音色が切り替わります。

* このとき、どの鍵盤を押しても音は鳴りません。

- 3 音量を調節します。
 - **VOLUME** つまみを使って調節します。

- 4 鍵盤を弾いてみましょう。

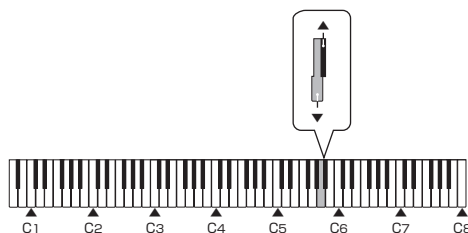
NOTE

- 音色を選び直すと、その音色のDSP*設定に自動的に切り替わるため、そのとき鳴っている音が一時的に途切れます。その後、新しく選んだ音色に設定されている DSP*に変更されます。
(※ 7 ページ参照)

音色の明るさを調節するには (ブリリアンス)

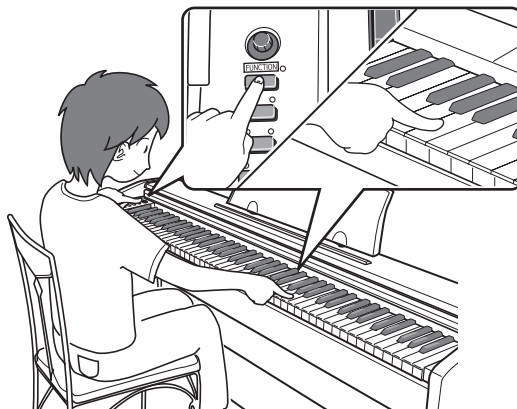
音色の「明るさ」を調節できます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま以下の鍵盤を押して、ブリリアンスを調節します。



- ▼：まろやかな柔らかい感じの音になる
- ▲：明るく硬い感じの音になる

- **FUNCTION** ボタンを押したまま、2つの鍵盤を一緒に押すと、初期の設定になります。

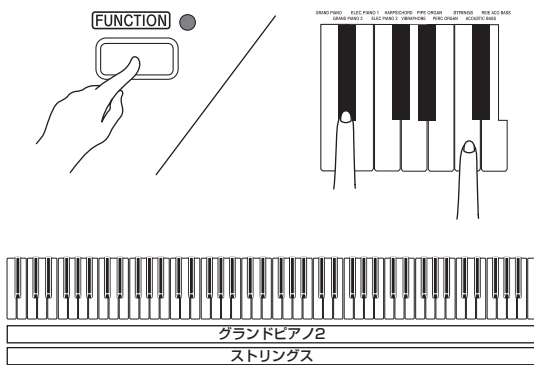


2つの音色を重ねてみる (レイヤー)

本機では、2種類の音色を重ねて演奏できます。
2つの鍵盤中、左側に位置する音色がメインの音色、右側に位置する音色がレイヤー音色として設定されます。

- 1 FUNCTION** ボタンを押しながら、重ねたい音色に対応している鍵盤を2つ一緒に押します。

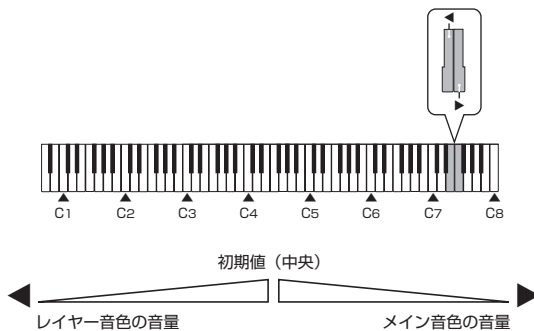
例：GRAND PIANO2 と STRINGS を一緒に押す。



- もとの1音色の状態に戻すには、**GRAND PIANO** ボタンを押す、など音色を選び直します。

重ねている2種類の音色の音量バランスを調整するには

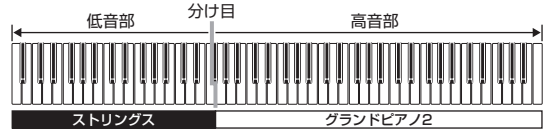
- 1 FUNCTION** ボタンを押したまま、以下の鍵盤を押します。



- **FUNCTION** ボタンを押したまま、上記2つの鍵盤を一緒に押すと、初期の設定になります。

2つの音色を左右に分けてみる (スプリット)

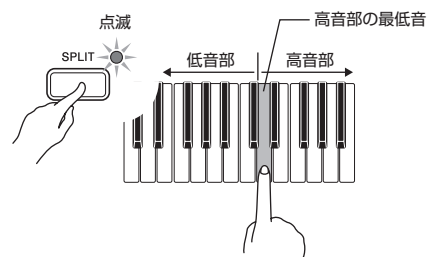
本機では、鍵盤を高音部、低音部に分けて、それぞれ別々の音色で演奏できます。



- 高音部の音色を選びます(5ページ参照)。
例：GRAND PIANO 2
- SPLIT** ボタンを押します。
• スプリットランプが点灯します。
- FUNCTION** ボタンと鍵盤で、低音部の音色を選びます(5ページ参照)。
例：STRINGS
- もとの1音色の状態に戻すには、**SPLIT** ボタンを押します。
• スプリットランプが消灯します。

2つの音色の分け目を変えるには

- 1 SPLIT** ボタンを押しながら、高音部の最低音(左端)にしたい鍵盤を押します。



音色に効果をかけてみる (エフェクト)

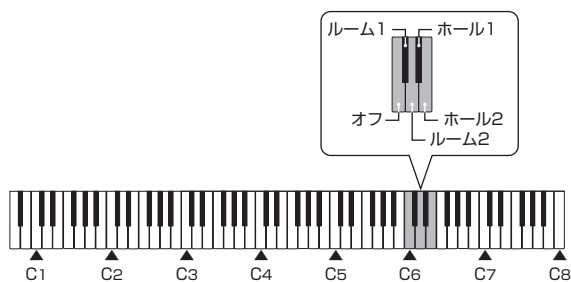
リバーブ…残響の効果
コーラス…音が広がるような効果

効果を設定するには

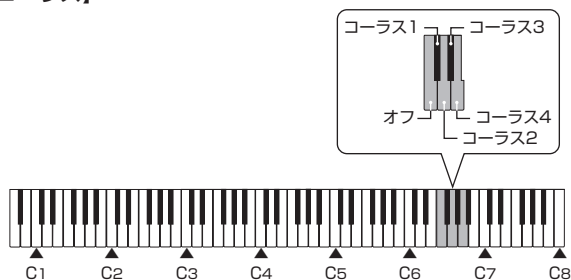
リバーブ、コーラスには各4タイプあります。

1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の鍵盤を押します。

【リバーブ】



【コーラス】

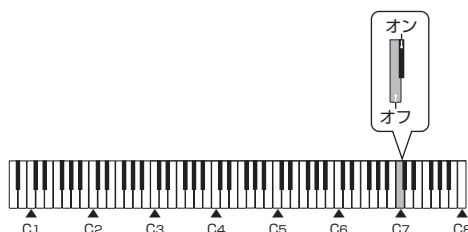


DSP について

複合的な音響効果をデジタル処理で実現させる効果です。音色ごとにあらかじめかかっています。

DSP のオン・オフを切り替えるには

1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の鍵盤を押します。



NOTE

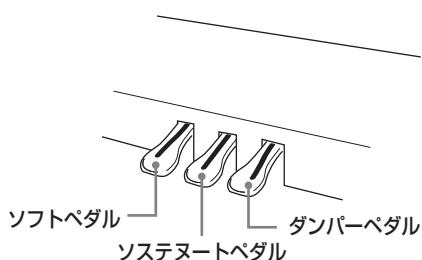
- 初期の設定では、メイン音色がDSP オン、レイヤー音色やスプリット音色ではオフになっています。DSPは、以下のように、いずれか一つのパートにのみかけられます。

	メイン音色	レイヤー音色	スプリット音色
初期値	オン	オフ	オフ
レイヤー音色のDSPをオン	オフ	オン	オフ
スプリット音色のDSPをオン	オフ	オフ	オン

- メイン音色、レイヤー音色、スプリット音色パートごとにコーラスのオン/オフの設定ができます。
- リバーブはメイン音色、レイヤー音色、スプリット音色パートごとのオン/オフの設定はできません。

ペダルを使ってみる

ダンパー、ソフト、ソステヌートの3つのペダルがあります。



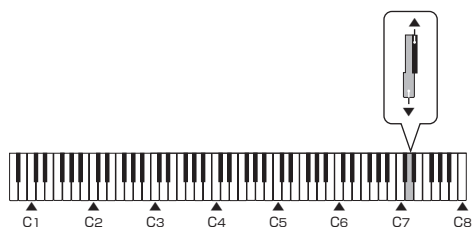
【各ペダルの働き】

- ダンパーペダル**
 演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音の余韻が非常に長くなります。また、GRAND PIANO/GRAND PIANO 2音色を選んでいる場合は、実際のグランドピアノでダンパーペダルを使用している時のような共鳴効果も生み出せます。
- ソフトペダル**
 演奏中にこのペダルを踏むと、ペダルを踏んでから鍵盤で弾いた音が弱まるだけでなく、音色が柔らかく聞こえる効果が得られます。
- ソステヌートペダル**
 このペダルを踏んだ時点で押さえている鍵盤の音だけ、ペダルを離すまで余韻が長くなる効果が得られます。

ダンパーペダルを途中まで踏んだときの効果を調節するには

ダンパーペダルを途中まで踏み込んだときにかかるペダル効果の度合いを調節できます。ピアノ音色（GRAND PIANO/GRAND PIANO 2）にのみ、効果がかかります。0（効果無し）～42（踏み切ったときと同じ）の間で調整できます。

- FUNCTION** ボタンを押したまま、以下のいずれかの鍵盤を押します。



- ▼：効果の度合いを減らす
- ▲：効果の度合いを増やす

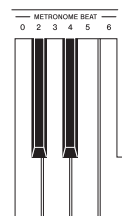
- FUNCTION** ボタンを押したまま、上記2つの鍵盤を一緒に押すと、初期の設定になります。

メトロノームを鳴らしてみる

- METRONOME** ボタンを押します。

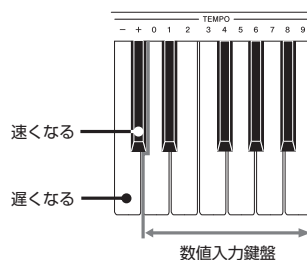
- メトロノームが鳴ります。

- FUNCTION** ボタンを押したまま以下のいずれかの鍵盤を押して、拍子を設定します。



- 拍子は、2～6拍子の間で設定できます。「0」を設定すると、ベル音は鳴らずにクリック音のみが鳴ります。拍子にかかわらず練習するのに便利です。

- FUNCTION** ボタンを押したまま、下図のテンポ設定鍵盤を押してテンポを調節します。



- FUNCTION** ボタンを押したまま、+/-の鍵盤を一緒に押すと、初期の設定になります。（指定範囲：30～255）

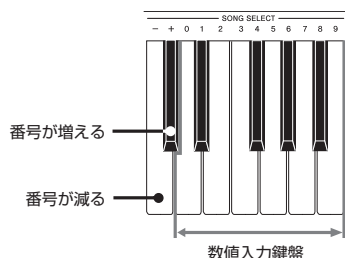
- メトロノームを止めるには、**METRONOME** ボタンをもう一度押します。

内蔵曲を練習してみよう (ミュージックライブラリー)

曲を鳴らしてみる

本機には、60曲が内蔵されています。20ページの「ソングリスト」を参照してください。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の曲選択鍵盤を押して曲を選びます。



- +と-の鍵盤を一緒に押すと、00番の曲が選ばれます。
- 内蔵曲の演奏中は、レイヤー/スプリット機能は使えません。

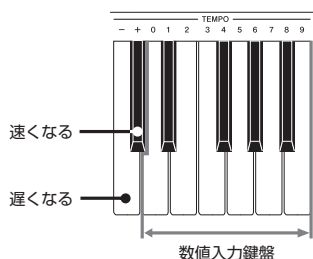
- 2 **START/STOP** ボタンを押します。

- 選んだ曲が鳴ります。

- 3 曲を止めるには、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。

テンポを調節するには

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、下図のテンポ設定鍵盤を押してテンポを調整します。

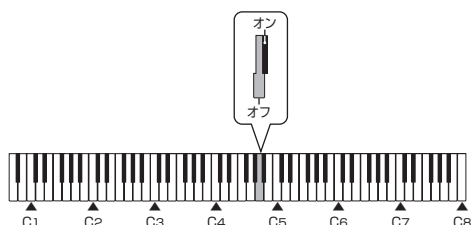


- +/-の鍵盤を一緒に押すと、選ばれている曲のお勧めのテンポになります。

曲頭のカウント音をオン/オフするには

曲の頭でカウントを「鳴らす/鳴らさない」を以下の操作で選ぶことができます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の鍵盤を押します。



練習してみる

内蔵曲の右手パートまたは左手パートの音を消して、自分で弾く練習ができます。

準備

- 曲を選び、テンポを設定しておきます。(前項目の「テンポを調節するには」参照)。
- その曲のおすすめのテンポより速いテンポで曲を鳴らす場合は、おすすめのテンポの約2倍の速さまでしか設定できません。
- 曲を演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。

- 1 **PART/TRACK** ボタンを押して、音を消したいパートを選びます。

- ボタンを押すごとにボタン上の2つのランプがそれぞれ点灯/消灯します。消したいパートのランプを消灯させます。

- 2 **START/STOP** ボタンを押します。

- 演奏が始まります。操作1で選んだパートは鳴りません。

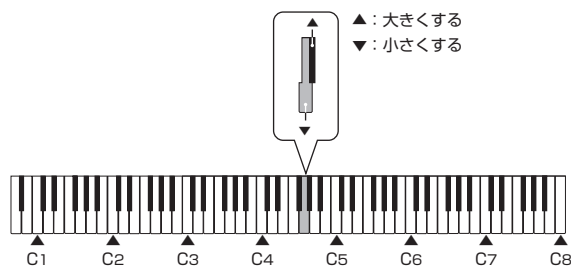
- 3 音を消したパートを自分で弾きます。

- 4 曲を止めるには、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。

内蔵曲の音量を調節するには

内蔵曲の音量を全体の音量とは別に調節できます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の鍵盤を押します。



演奏を録音／再生してみましょう (ソングメモリー)

本機で演奏した内容を録音して、再生できます。

NOTE

- レイヤー／スプリット機能は、ソングメモリー機能の録音中は使えません。

トラックについて

本機では1曲に対して異なる演奏内容を2つまで重ねて録音できます。2つの異なる演奏内容や音色番号は、メモリー内の個別の位置(これをトラックと呼びます)にデータとして記録されます。

録音できる容量

- トラック1と2合わせて、約10,000音符まで録音できます。
- 演奏の途中で録音できる容量をこえると、RECランプが消灯して自動的に録音が止まります。

録音される内容

鍵盤演奏、演奏に使った音色、テンポ設定、ペダル操作、リバーブ／コーラス設定、DSPのオン／オフ設定、プリリアンス設定

録音内容の保持

本機は、録音した内容を電源を切った後にも保持するため※に、本体内にリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、本体の電源を切ると同時に、録音内容は消去されてしまいます。内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約5年ですので、お買い上げより相当の年数がたちましたら、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご連絡ください。有償にて電池交換を行います。

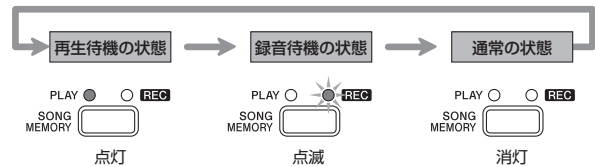
※ 録音の途中では、電源を絶対に切らないでください(右記 **重要** 参照)。

重要

- どちらかのトラックが録音済みの場合で、そのトラックだけで録音できる容量一杯まで録音されている場合は、もう一方のトラック(データがないトラック)は、録音できません。
- 本機に録音を行う場合、以前に録音してあった内容は消去されます。
- 録音中に電源が切れると、録音してあった内容はすべて消去されます。
- 本機の故障、修理や電池交換などによる録音内容の消去により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

SONG MEMORY ボタンの使い方

SONG MEMORY ボタンを、1回押すごとに以下のように状態が切り替わります。



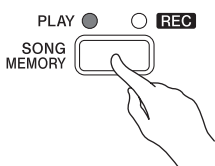
演奏を録音してみる

鍵盤演奏をそのまま録音する方法と、録音済みのトラックの再生に合わせてもう一方のトラックに録音する方法があります。

鍵盤演奏をそのまま録音するには

トラック1に録音後、トラック2に別の曲を録音するときは、操作1、2のNOTEを参照してください。

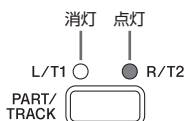
- 1 SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAY ランプを点灯させます。



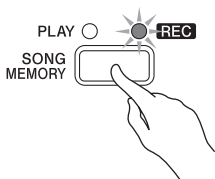
- 録音に使う音色や効果を選び、テンポを設定しておきます。

NOTE

- トラック1に録音済みで、トラック2に別の曲を録音する時は、**PART/TRACK** ボタンを押して左手／トラック1ランプを消滅させます。



- 2 SONG MEMORY** ボタンを押して、REC ランプを点滅させます。



- 左手／トラック1ランプが点滅し、トラック1へ録音待ちの状態になります。

NOTE

- トラック2へ録音したい場合：ここで、**PART/TRACK** ボタンを押します。右手／トラック2ランプを点滅させて、トラック2へ録音待ちの状態にします。

- 録音中にメトロノームを鳴らしたい場合は、メトロノームをオンしておきます。ソングメモリー機能を使用しているときは、メトロノームの拍子が自動的に0拍子になります。拍子の変更はできません。

- 演奏を開始します。

- 自動的に録音が始まります。

- 録音を止めるには、**START/STOP** ボタンを押します。

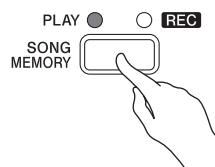
- RECランプが消灯し、録音したトラックボタンのランプが点灯します。
- 録音した内容をすぐに再生したい場合は、もう一度**START/STOP** ボタンを押します。

- 録音や再生が終わったら、**SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAY ランプとRECランプを消灯させておきます。

録音済みのトラックを再生しながらもう一方に録音するには

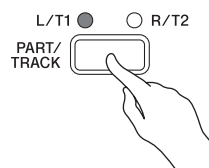
例えば、録音済みのトラック1の再生に合わせて、トラック2に録音したい場合は、以下の手順になります。

- 1 SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAY ランプを点灯させます。



- 録音に使う音色や効果を選んでおきます。

- 2 PART/TRACK** ボタンを押して、左手／トラック1ランプを点灯させておきます。



- もう一度、**SONG MEMORY** ボタンを1回押します。

- 左手／トラック1ランプが点滅します。**PART/TRACK** ボタンを押して、右手／トラック2ランプを点滅させます。トラック2へ録音待ちの状態になります。

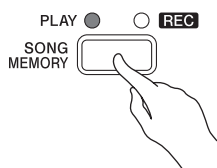
- 4 START/STOP** ボタンか鍵盤を押して、演奏を開始します。

- トラック1の再生と、トラック2への録音が同時に始まります。

- 録音を止めるには、**START/STOP** ボタンを押します。

録音した演奏を再生してみる

- 1 SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAY ランプを点灯させます。



- 2 PART/TRACK** ボタンを押して、再生したいトラックを選びます。

- ボタンを押すごとにボタン上の2つのランプがそれぞれ点灯します。選びたいトラックのランプを点灯させます。
トラック1：左手／トラック1ランプが点灯
トラック2：右手／トラック2ランプが点灯
両トラック：上記両方のランプが点灯

- 3 START/STOP** ボタンを押します。

- 録音した内容が再生されます。
- 再生時は、テンポを変えることができます。
 - 再生中に **METRONOME** ボタンを押して、メトロノームの音を消したり鳴らしたりできます。
 - 再生の音色を変えることはできません。
 - 途中で止める時には、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。

NOTE

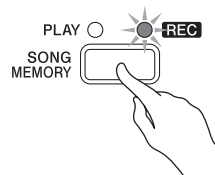
- ソングメモリーの録音内容の再生は、MIDI OUT 端子からは送信されません。

録音した内容を消去するには

重要

- 以下の操作を完了すると同時に、録音した内容はすべて消去され、元に戻すことはできません。消去しようとしている内容を一度再生して、消去してもよいことをご確認の上、以下の操作を行うことをお勧めします。

- 1 SONG MEMORY** ボタンを押して、REC ランプを点滅させます。

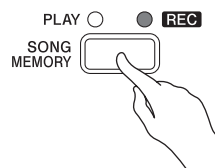


- 2 PART/TRACK** ボタンを押して、消去したいトラックを選びます。

- 選んだトラックのランプが点滅します。

- 3 SONG MEMORY** ボタンを長押しします。

- REC ランプが点滅から点灯状態に変わります。



- 4 PART/TRACK** ボタンを押します。

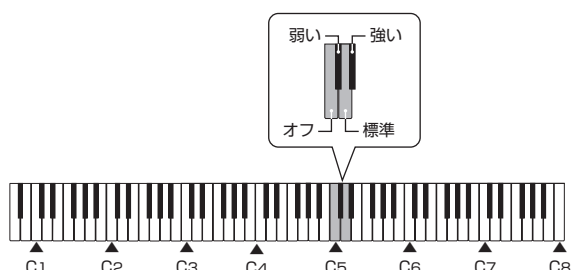
- 選んだトラックの録音内容が消去され、再生待ちの状態になります。

その他の設定

鍵盤のタッチを変更してみる

鍵盤を弾くときの強弱感度を変更できます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、以下の鍵盤を押します。

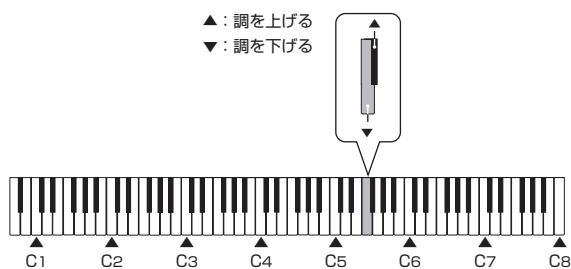


オフ
弱い (弱めに弾いても大きな音、強い音が出る)
標準
強い (強めに弾いて、標準の音が出る)

鍵盤の調を変更してみる (トランスポーズ)

鍵盤全体の調を半音単位で上下させることができます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、以下のいずれかの鍵盤を押します。



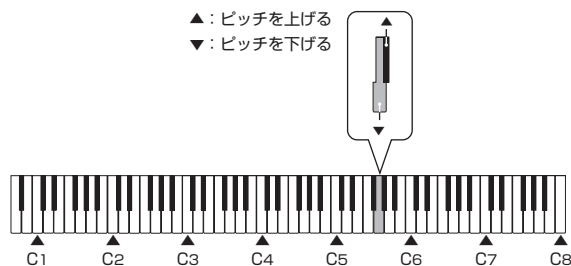
NOTE

- **FUNCTION** ボタンを押しながら、鍵盤の▼と▲を同時に押すと、Cになります。
- トランスポーズ機能を使って鍵盤の音を高くしている場合、音色によっては最高鍵域で音の高さが不明瞭になる場合があります。

他の楽器と音程を合わせてみる (チューニング)

本機全体のピッチを A4=440.0Hz から上下 50 セント (100 セント=半音) の範囲で調節できます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、以下のいずれかの鍵盤を押します。



※ ボタンを押すごとに、約 1 セント=1/100 半音ずつ調節します。

NOTE

- **FUNCTION** ボタンを押しながら鍵盤の▼と▲を同時に押すと、ピッチは A4=440.0Hz になります。

本機で設定した内容を 保つには

以下の設定をオンにすれば、本機の電源を切った後も設定した内容*を保つことができます。設定をオフにすると、電源を切った後は設定した内容は消去されます。

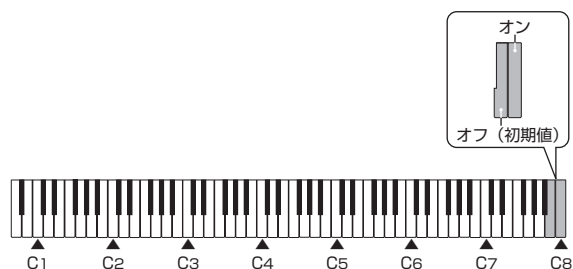
※ 曲の選択、鍵盤タッチ、ダンパーペダルの調整、レイヤー音色の音量バランス、スプリットポイント、メトロノームの拍子、送信チャンネル

NOTE

- この設定がオンのとき、ソングメモリー機能の録音待機・再生待機（10ページ参照）中に電源を切ると、上記の通常の設定に加え次の設定が保たれ、次回、再生待機状態になった時に呼び出されます。

音色、スプリットのオン/オフ、トランスポーズ、チューニング、コーラス

- FUNCTION** ボタンを押したまま、以下のいずれかの鍵盤を押します。



MIDI 機能を使ってみる

MIDI について

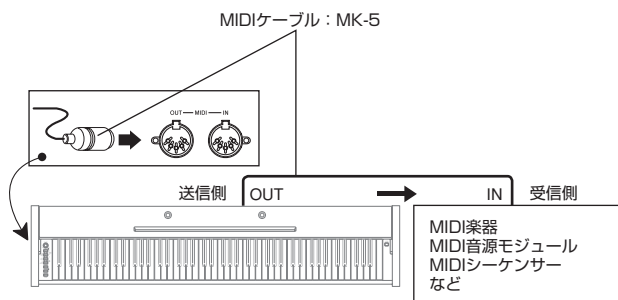
電子楽器同士、あるいは電子楽器とコンピューター機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。

NOTE

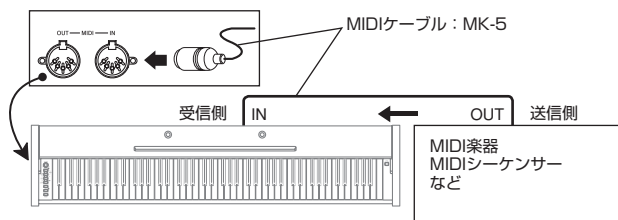
- MIDI インプリメンテーションの詳細は、<http://www.casio.co.jp/emi/> を参照してください。

MIDI の接続について

送信



受信



各設定をするには

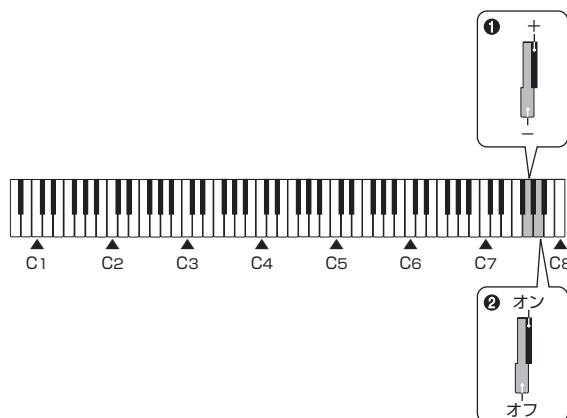
① 送信チャンネルの設定

本機のMIDIメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルを1～16のMIDIチャンネルの中から1つ設定します。

② ローカルコントロールの設定

本機の内部で、鍵盤部分と音源部分を電氣的に切り離すか、離さないかの設定です。オフにすると、鍵盤と音源が切り離され、鍵盤を弾いても音が鳴らなくなります。外部のシーケンサーなどを使って本機の自動演奏を行う場合に、本体の鍵盤に触れても音を出さないようにできます。

- FUNCTION** ボタンを押しながら、以下の鍵盤を押して設定します。



① 送信チャンネルの設定

- : 数値が減る
- + : 数値が増える

② ローカルコントロールの設定

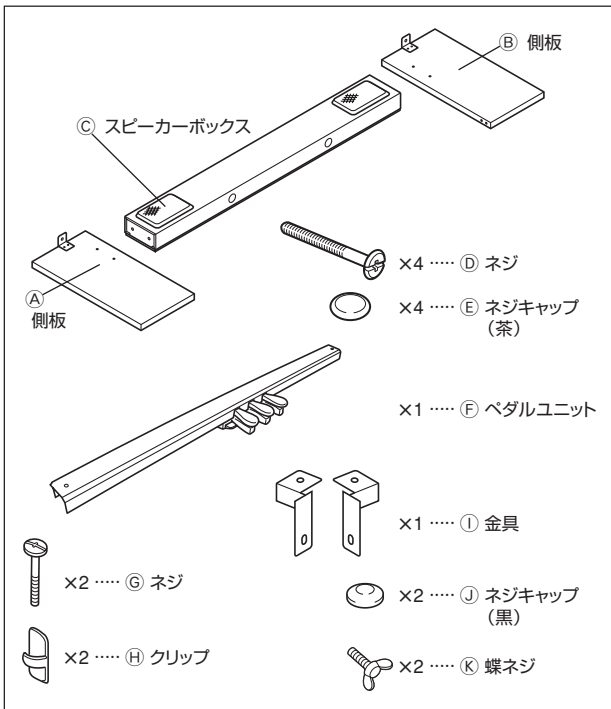
- オフ
- オン

スタンドの組み立て方

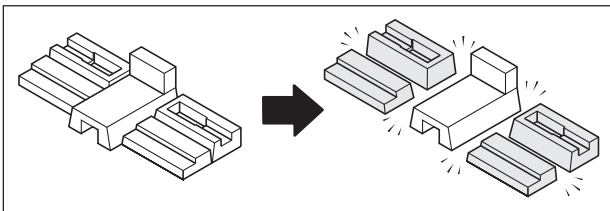
付属品を確認しましょう

準備

- 最初に以下の部品がそろっていることをご確認ください。(ネジ類はビニール袋にまとめて、発泡スチロール緩衝材の中にあります)。
- 組み立て用の工具は付属しておりません。あらかじめ大きめのプラス (+) ドライバーをご用意ください。



- スタンドの組み立てを始める前に、発泡スチロール緩衝材を4つに分割しておきます。

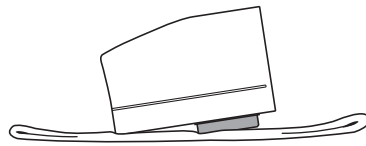


スタンドを組み立てる

注意

- 組み立ては、必ず二人で行ってください。
- 組み立ては、必ず平らな場所で行なってください。
- 組み立てが終わるまで、本体の鍵カバーについているテープをはがさないようにしてください。組み立ての途中でカバーが開閉すると指などはさむことがあります、危険です。
- 組み立ての際は、手などはさまないようにご注意ください。

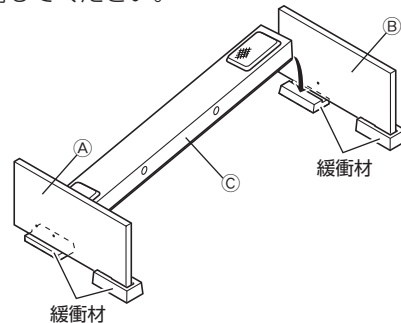
- ピアノ本体を床に置くときは、本体底面が床に直接接触しないように、柔らかいもの(毛布、座布団など)の上に置いてください。



スタンドおよびスピーカーボックス③の組み立ては、全体を横にした状態で行ってください。

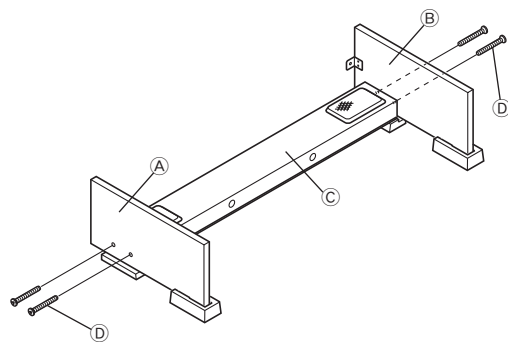
準備

- 4つに割った発泡スチロール緩衝材を使って、側板④、⑤を固定します。地面と側板の間にすき間ができ、組み立て易くなります。
- 緩衝材がない場合は、雑誌など平らで厚みのあるものを使用してください。



- 1 スピーカーボックス③を側板④、⑤に取り付けます。取り付けには、ネジ⑥を4本使用します。

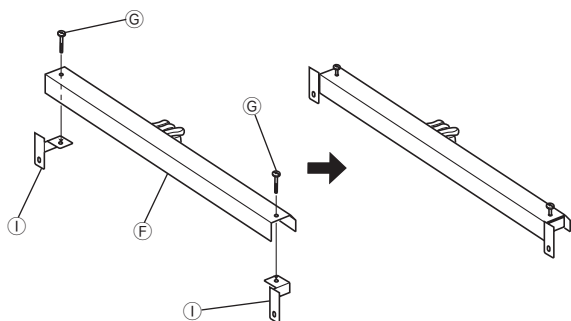
- スピーカーボックス③のネジの穴を側板の穴に合わせてネジ⑥を取り付けます。
- スピーカーボックス③の片側を仮留めして、もう一方をしっかり留めます。
- 次に、仮留めしてあるスピーカーボックス③の片側をしっかり留めます。



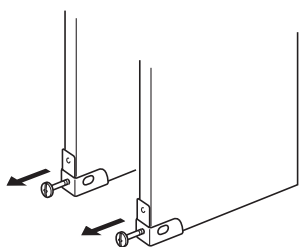
※ スピーカーボックス③は、後ろ向きに取り付けることもできます。

- 2 すべてのネジをしっかりと固定したら、緩衝材を取り除き、スタンドをおこします。

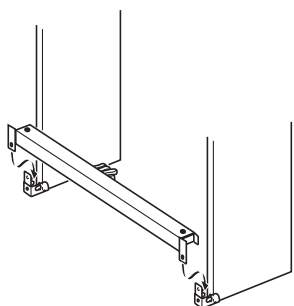
- 3** ペダルユニット⑥に金具①を取り付けて、ネジ⑦で仮留めします。



- 4** スタンドの側板④、⑤の底面についている金具のネジを一度外します。

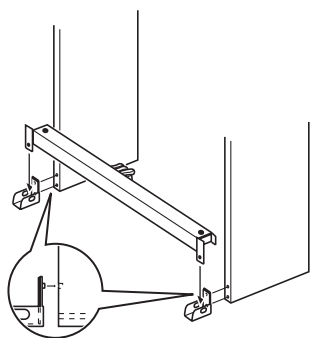


- 5** スタンドと金具の間にペダルユニットの金具を差し込みます。



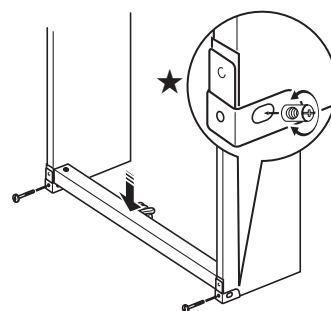
壁から離れた場所に本機を設置するには

壁から離れた場所に本機を設置する場合は、本体が転倒しないように、以下の図のように、金具の後ろにペダルユニットの金具を入れます。



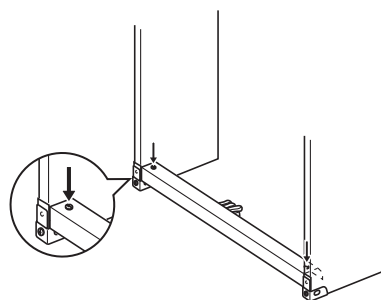
- 6** 手順4で外したネジでスタンドと金具を固定します。

重要: このとき、ペダル部分が床に接するようにペダルユニットをしっかり押さえながらネジを締めてください。

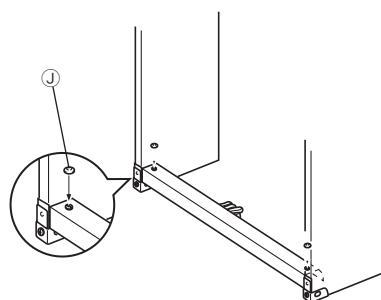


- 金具を取り付けるネジが側板にあらかじめ付いているジョイントコネクタのネジ穴に入りにくい場合は、ドライバーを使用してジョイントコネクタを回転させ、調節してください（図中の★）。

- 7** 手順3で仮留めしたネジ⑦をしっかり締めます。

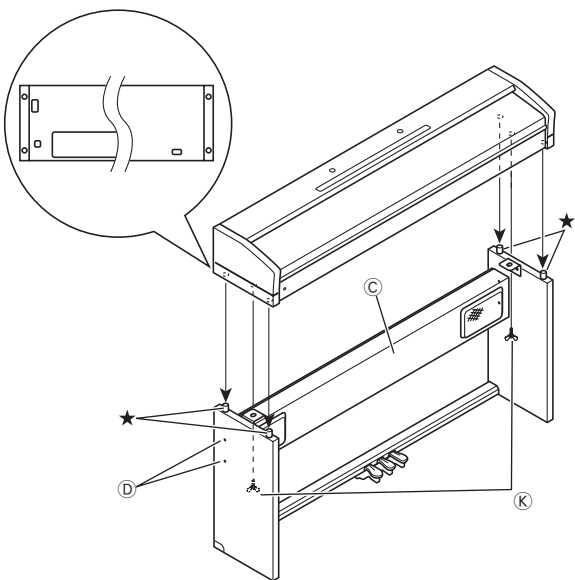


- 8** ネジにネジキャップ⑧をかぶせます。



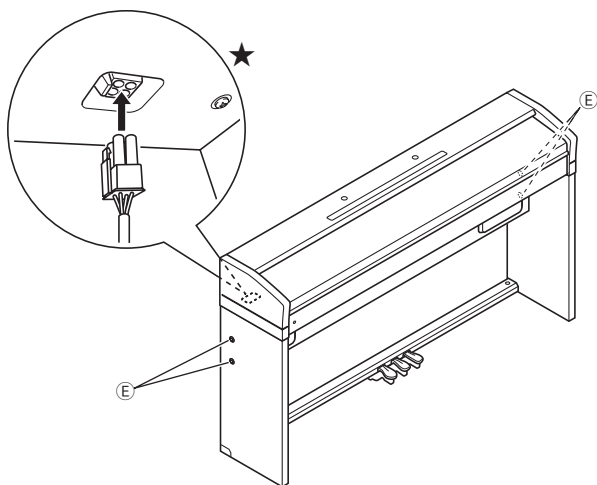
ピアノ本体をスタンドに取り付ける

- 9** ピアノ本体をスタンドの上ののせます。
- このとき、スタンドの突起部分 (図の★) がピアノ本体底面部にある穴に入るように取り付けます。
 - 蝶ネジ⑩でピアノ本体をスタンドにしっかりと固定します。

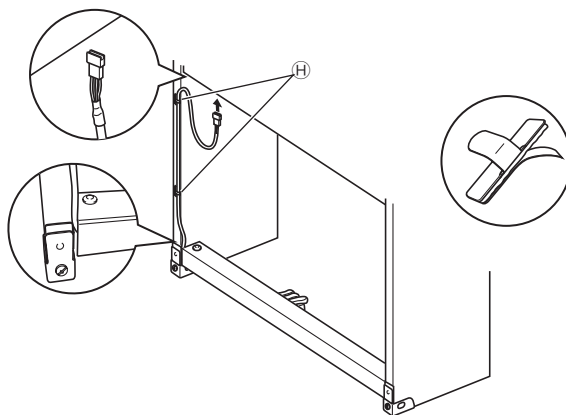


重要： スタンドの突起部分と本体の穴がうまく合わない場合は、スピーカーボックス③を側板に留めているネジ④ (片側のみ) を1、2回転ゆるめてから、本体をのせます。その後、一度ゆるめたネジ④をしっかりと締め直します。

- 10** スピーカーコネクタにケーブルを接続します (図中の★)。
- ネジキャップ⑤を取り付けたネジ4箇所装着します。



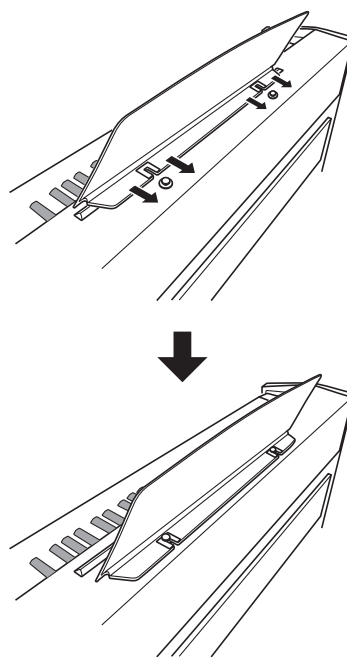
- 11** ペダルユニットのプラグをイラストと同じ向きにして、ピアノ本体底面のペダルコネクタに差し込み、ペダルのコードをクリップ⑨で固定します。



- スタンドの側板にクリップ⑨を2箇所、図のように取り付けます。

譜面立ての立て方

- 1** 図のように、譜面立てをピアノ本体の上部にあるネジに差し込み、ネジを締めます。



困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみが“MIN”の位置にある。 ヘッドホンがつながっている。 ローカルコントロールの設定がオフになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみを“MAX”の方に動かす。 ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。 ローカルコントロールの設定をオンにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 5 ページ 2 ページ 14 ページ
ピッチがずれて聴こえる。	<ol style="list-style-type: none"> 調の設定が“C”以外になっている。 音程が正しく設定されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 調の設定を“C”にする。または、電源を入れ直す。 音程を正しく設定する。または、電源を入れ直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 13 ページ 13 ページ
デモ演奏を始めたが音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみが“MIN”の位置にある。 ヘッドホンがつながっている。 	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみを“MAX”の方に動かす。 ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> 5 ページ 2 ページ
メモリーの内容が消えてしまう。	リチウム電池が消耗している。	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して、リチウム電池を入れ替える。	22 ページ
鍵盤を押しても、外部のMIDI音源の音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> 本機の送信チャンネルと外部のMIDI音源のチャンネルが一致していない。 外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定が“0”になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 本機と外部のMIDI音源の送信チャンネルを一致させる。 外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定を適切な値にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 14 ページ 外部音源の取扱説明書
同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。	<p>デジタルサンプリングという電子処理*によって発生する音域の境目で、故障ではありません。</p> <p>*元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。</p>		

製品仕様

型式	PX-700
鍵盤	88 鍵、ピアノ鍵盤、タッチレスポンス付き
同時発音数	最大 32 音
音色	11 種類 (レイヤー、スプリット可)
エフェクト	リバーブ (4 種)、コーラス (4 種)、DSP、プリリアンス
メトロノーム	<ul style="list-style-type: none"> 拍子：0,2,3,4,5,6 テンポ範囲：30～255
ミュージックライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> 曲数：60 曲の音量：調節可 デモ：全曲 (60 内蔵曲) リピート再生 パートのオン/オフ：左手、右手
ソングメモリー	<ul style="list-style-type: none"> 方式：リアルタイム録音、再生 容量：約 10,000 音符 (2トラック合計) 録音内容の保持：内蔵リチウム電池による (電池寿命約 5 年)
ペダル	ダンパー、ソフト、ソステヌート
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> タッチセレクト：3 種類、オフ トランスポーズ：1 オクターブ (F#～C～F) チューニング：A4 = 440.0Hz ± 50 セント (可変)
MIDI	16ch マルチティンバー受信
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン端子：ステレオ標準ジャック × 2 出カインピーダンス 170 Ω 出力電圧 5.5V (RMS) MAX 電源端子：DC12V MIDI [OUT] [IN] 端子 ペダルコネクタ
スピーカー	12cm × 2 (出力 8.0W + 8.0W)
電源	家庭用 100V 電源使用 AC アダプター AD-12JL 使用
消費電力	12V ≒ 18W
サイズ	本体+スタンド：幅 136.9 × 奥行 30.0 × 高さ 78.9cm
重量	本体+スタンド：約 32.5kg
付属品	ACアダプター(AD-12JL)、スタンド、ペダルユニット、スピーカーボックス、譜面立て、取扱説明書(本書)、保証書、楽譜集

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
イス	CB-5 CB-7 CB-9BN CB-20LB
MIDI ケーブル	MK-5
MIDI インターフェイス	UI-7A

- 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店 (全国の有名楽器店、デパートなど) で、お求めになれます。

トーンリスト

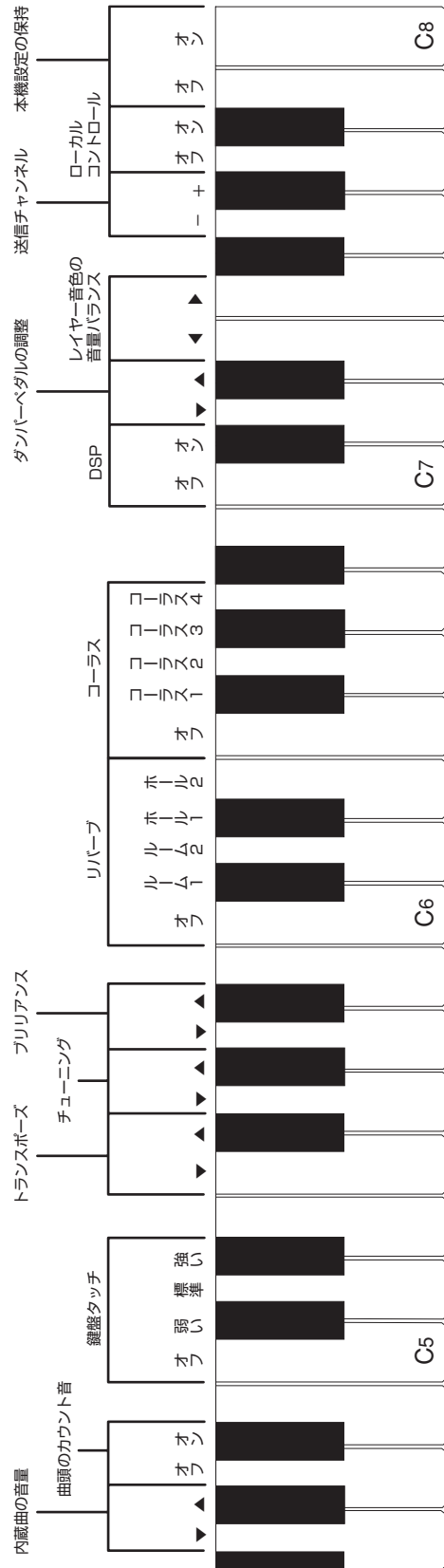
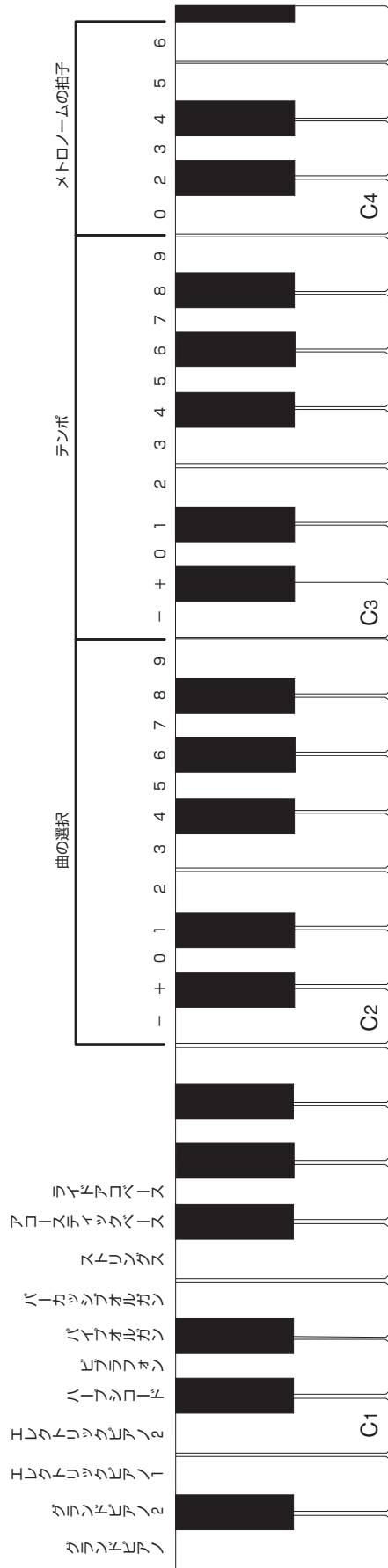
音色名	最大同時 発音数	プログラム チェンジ	バンクセレクト トMSB
GRAND PIANO	16	0	100
GRAND PIANO 2	32	1	100
ELEC PIANO 1	32	4	48
ELEC PIANO 2	16	5	48
HARPSICHORD	32	6	48
VIBRAPHONE	32	11	48
PIPE ORGAN	32	19	48
PERC ORGAN	16	17	48
STRINGS	32	49	48
ACOUSTIC BASS	32	32	48
RIDE ACO BASS	16	32	49

ソングリスト

NO.	曲名
00	アラベスク 第1番
01	ノクターン 作品9の2
02	幻想即興曲 作品66
03	エチュード 作品10の3 <別れの曲>
04	プレリュード 作品28の7
05	アヴェ・マリア
06	楽しき農夫
07	カノン 二長調
08	メヌエット 「アンナ・マグダレーナのためのクラヴィーア小曲集」より
09	プレリュード 第1番 「平均律クラヴィーア曲集 第1巻」より
10	主よ、人の望みの喜びよ
11	ガボット
12	セレナード 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
13	ソナタ K.331 第3楽章 <トルコ行進曲>
14	喜びの歌
15	エリーゼのために
16	ソナタ 作品27の2 <月光> 第1楽章
17	ワルツ 作品39の15 (連弾)
18	乙女の祈り
19	シシリエンヌ 作品78
20	ジムノペディ 第1曲
21	愛の挨拶
22	アメイジング・グレイス
23	虹の彼方に
24	いつか王子様が
バイエル ピアノ教則より	
25	第60番
26	第78番
27	第80番
28	第91番
29	第98番
ブルグミュラー 25の練習曲	
30	素直な心
31	アラベスク
32	牧歌
33	子供の集会
34	無邪気
35	進歩
36	清い流れ
37	優美
38	狩獵
39	やさしい花
40	せきれい
41	さようなら
42	なぐさめ
43	スティリアの女
44	バラード
45	小さな嘆き
46	おしゃべり
47	心配
48	アヴェ・マリア
49	タランテラ
50	天使の声
51	舟歌
52	帰途
53	つばめ
54	貴婦人の乗馬
ツェルニー 30番練習曲より	
55	第1番
56	第2番
57	第13番
58	第26番
59	第30番

設定に使用する鍵盤一覧

本機では、**FUNCTION** ボタンを押したまま特定の鍵盤を押して設定する操作があります。
 ※ C4などの数字は鍵盤の位置を示しています。



ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■ 設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所（これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります）。

■ 本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■ リチウム電池消耗に関するご注意

本機は、メモリーに記録した内容を電源を切った後（メモリー停止中に電源を切った後）も保持するために、本体内にリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、録音を行った後で本体の電源を切ると同時に録音内容は消去されてしまいます。内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約5年です。お買い上げより相当の年数が経ちましたら、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご連絡ください。有償にて電池交換をいたします。

- 本機の故障、修理や電池交換などによるメモリーデータの消失により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなるご請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのほひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。

本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

保証・アフターサービスについて

保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています

修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。

- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

当商品は「出張修理」「持込修理」のいずれも受け付けております。修理をお急ぎの場合には、事前に最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。お客様のご希望に沿った修理方法をご案内させていただきます。

あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。

また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。

- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。

- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。

- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

アフターサービスなどについておわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。



This recycle mark indicates that the packaging conforms to the environmental protection legislation in Germany.

これは、梱包箱がドイツの環境保護法に適合していることを示すリサイクルマークです。


CASIO®



このマークはEU諸国におけるリサイクル規制のマークです。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

 MA0603-B Printed in China
PX700JA1B